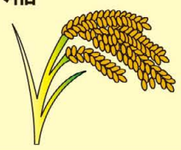
Kubota

クボタ純正 土の素シリーズ

バイトロン・蘇生の素・堆肥の素

収穫に差をつける
バイオテクノロジーの結晶。

土の素シリーズの使用例（10a当り）

	育苗期	定植後
水稲 	**堆肥の素**をコンバイン刈りした後、ほ場へ10kg散布。出来れば等量の米ヌカとまぜて施用し、散布後すぐ耕起すると一層の効果がある。	**バイトロン**（粒）を最高分けつ期又は中干し期間中に3kg（1袋）をほ場へ散布する。（田植え後45日前後）
イチゴ トマト キュウリ ナス ピーマン	**蘇生の素**を一株当たり3～5g床土に混ぜる。 **バイトロン**を消毒と同時に3,000～5,000倍で葉面散布。	**蘇生の素**を90～120kgほ場に施用し土壌に混ぜ込む。 **バイトロン**（液）は200～400cc液量を定植から収穫終了迄7日～10日間隔で灌水と同時に使用の事。 （地温の低下により根の動きが弱まった時、500～1,000倍にて葉面散布を実施する。農薬との混用可。） **（注）農薬、除草剤との混用は不可**

バイテク時代の新肥料登場

クボタから、これまでの無機肥料とはまったく異なった、バイオテクノロジー（生命工学）時代にふさわしい、新・有機肥料が登場しました。これまで、植物は無機質の栄養分を吸収し、太陽エネルギーで光合成を行って成長するものと考えられてきました。しかし、まったく光が無い状態でも、土壌中に有用微生物を増やし、その分泌物から低級脂肪酸・核酸・アミノ酸・ビタミン類・ホルモン・糖など植物にとって大切な有機物を根圏に供給すると、植物は成長し、開花・結実することが無菌栽培と吸収実験で明らかになりました。クボタ土の素シリーズは、この結果をもとに開発された新タイプのバイオ肥料。土壌微生物を有効に利用し、農作物に最適な土壌環境をつくり、品質向上と増収に大きな効果が期待できます。

	内容・重量	品番
バイトロンII	粒剤 3kg	07909-7461-0
バイトロンI	液剤 5kg	07909-7463-0
蘇生の素	粉剤15kg	07909-7465-0
堆肥の素	粉剤10kg	07909-7466-0

●クボタの土の素シリーズ使用効果例

●水稲（田植え後30日目）

●水稲（収穫前）

各写真での右側が使用例

［販売元］株式会社クボタ
本社 大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号 〒556-8601

［製造元］自然応用科学 株式会社
愛知県名古屋市中区錦1-13-26 〒460-0003

製品の詳しいご相談は下記までご連絡ください。

担当者

安全宣言 安全はクボタの願い

取扱説明書をよく読んで正しく安全に使いましょう。
農業機械はじゅうぶんに点検整備するように心がけましょう。

クボタ電農スクエア 検索 http://www.jnouki.kubotа.co.jp/

みんなの農業広場 検索 http://www.jeinou.com

コードNo. 7-6300-246 KES.KES.'15・9作成2.

収穫に差をつけるバイオテクノロジーの結晶。

クボタ土の素シリーズ

バイトロン

体づくり

特許第660421号
(VITLON®)登録番号(生第67279号)

花芽形成促進剤**バイトロン**は、生命体の基本構成要素であるアミノ酸と核酸を原料とする、新タイプの有機質肥料です。植物に吸収されたアミノ酸や核酸は、①花芽形成・開花・着果・果実肥大の促進②味・品質・日持ちの向上などに高い効果があります。生殖成長期の植物に、このバイトロンを根圏散布（低地温下では葉面散布）すると、果実・野菜類の成熟を助け、収量の増大も期待できます。

●バイトロンの追肥用肥料としての効果

（京都大学農学部）

処理＼項目	果実の数			果実の重さ		
	トマト	ナス	ピーマン	トマト	ナス	ピーマン
無散布	4	9	11	46.29g	252g	129g
アミノ酸	5	9	17	64.74	279	117.9
核酸	10	11	16	60.90	279	166.8
バイトロン	15	9	20	256.98	340.5	198.0

注）上記の数値はポット栽培による実験データで、ほ場で栽培した場合とは数値が異なります

●イチゴに対するバイトロンの効果

前期（4月30日）収量 20株当り　　福井県農業試験場

処理	10g以上		10~5g		計		同左比	くず果数	奇形果数	平均果重
	個数	重量	個数	重量	個数	重量				
無散布	18	260g	36	237g	52	497g	100	31	49	9.0g
バイトロン20ppm	16	308	112	820	128	1120	228	2	10	8.9

蘇生の素（そせい）

連作障害抑制

蘇生の素は、13属90種もの有用微生物群を配合した、細菌性活性土壌改良剤です。有害菌に対する天敵的な有用微生物の繁殖を促して、病原菌の活動を抑制します。また、植物の吸肥活動を活発にして、品質の優れた作物の収量アップが期待でき、連作障害の抑制にも高い効果があります。

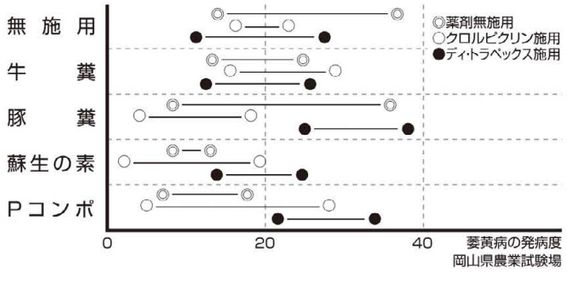
●ナス半枯病に対する蘇生の素の効果

茨城県園芸試験場

処理	総株数	病株率(%)	発病指数
蘇生の素	15	40.0	10.0
無散布	15	100.0	31.8

注）○病株率：総株数に占める発病した株数の比率。
○発病指数：発病した株の病気の軽重を5段階に分け、段階ごとに特定の数値を与え、指標化したもの。

●みの早生大根の連作障害対策試験



岡山県農業試験場

堆肥の素（たいひ）

ほ場の有機物処理

有機質腐熟促進剤**堆肥の素**は、ヘミセルロース・セルロース・リグニンなど、稲ワラの腐りにくい繊維物質を分解する力の大きい10種類の微生物が配合されています。これらの微生物は、増殖能力が高く、悪条件下でも稲ワラの分解を促進して、堆肥化のスピードアップに貢献します。また、代かき時の浮ワラや、湛水後の酸素不足、有害ガスの発生も防止します。

●稲ワラ腐熟促進効果例

株式会社 信州科学研究所

		水分(%)	全炭素(%)	全チッソ(%)	C/N
25℃条件	無散布	84	45.9	1.9	24.2
	堆肥の素 散布	84.5	36.3	2.1	17.3
0℃条件	無散布	84	50.8	1.3	39.1
	堆肥の素 散布	84.5	40.8	1.3	31.4

注）○シャーレにおける腐熟促進効果試験
○シャーレの稲ワラ10gに堆肥の素0.5g添加
○各温度条件で3週間経過後の成績
○C/N：炭素率。この数値が小さくなるほど、有機質の腐熟が進み、土壌中のチッソが多いことを示す。